

7月30日～8月4日に水稻発生予察を行いましたので、調査結果を報告いたします。

1 生育経過

現在の生育は、草丈は平年よりやや高く、茎数はほぼ平年並まで回復しています。
害虫では、ウンカ類(特にセジロ)の発生が北区全域で依然として相当多くなっています。基幹防除をまだ実施されてない場合は、早急に防除をしてください。ほ場を観察し、発生が著しい場合はJA各支店へご相談ください。
病気では、いもち病の発生は確認されませんでした。一部のほ場で紋枯れ病の発生を確認いたしました。紋枯病は高温で発生が助長されます。今後の天候と発生状況にご注意ください。
梅雨明け後の高温により出穂が予想より早まっています。

生育・病害虫調査結果

	地区名	草丈	茎数	いもち病	すくいどり調査(20回振り)			はたき落とし(頭数)			田植え日
		(cm)	(本/株)	程度(%)	ウンカ (セジロ・ヒメビ)	ツマグロ ヨコバイ	斑点米 カメムシ	ウンカ (セジロ・ヒメビ)	ツマグロ ヨコバイ	イネアオ ムシ	
キヌヒカリ	有野	85.8	20.3	0	64	59	0	42	182	0	5月25日
	山田	102.2	24.3	0	275	10	0	27	0	4	5月22日
	八多	90.1	23.9	0	734	0	0	370	1	9	5月25日
	大沢	105.2	20.3	0	11	3	1	230	5	4	5月25日
	長尾	87.4	18.0	0	58	3	0	247	4	6	6月1日
	上淡河	92.9	20.8	0	31	1	0	337	0	3	5月29日
	淡河	95.1	23.4	0	408	7	0	280	6	0	6月5日
コシヒカリ	道場	99.5	22.0	0	130	7	0	7	12	2	5月31日
	大沢	96.6	21.2	0	27	0	0	57	33	13	5月23日
平成22年平均		95.0	21.6	0.0	193.1	10.0	0.1	177.4	27.0	4.6	
過去3カ年平均		89.3	22.1	1.2	4.2	5.9	0	17.1	5.3	1.3	

2 今後の管理

(1) 基幹防除について <まだ実施されていない場合>

農薬名	使用時期	使用量
コラトップレボン粒剤	出穂5日前まで	3～4kg / 10a
ラテラワイド粉剤DL	出穂直前	3～4kg / 10a

(2) 臨機防除について

農薬名	使用時期	使用量	備考
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3kg / 10a	ウンカに効果あり
レボン粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg / 10a	ウンカ・ツマグロヨコバイ・イナゴにも効果あり

粉剤を使用する場合、周辺の作物に飛散しないように注意してください。

(3) カメムシ対策

カメムシ対策としての畦畔などほ場周辺の除草は、カメムシを水田に追いやる結果となるため避けましょう。
また、ほ場内のヒエをめぐらしてカメムシが集まりますので、ヒエ抜きを徹底してください。

(4) 出穂後の管理

中干し後の水管理は、根の活力を維持するため間断かん水が基本ですが、出穂前後は稲が水を必要とするので湛水管理としましょう。コメは出穂後1ヶ月は生長し、成熟には水分が必要なため、間断かん水を続け、早期落水はしないようにしましょう。

次回の巡回調査は8月26日の予定です。

お問合せ 神戸北営農総合センター
TEL:981-5540 FAX:981-5817